図書館協議会　令和８年度第２回定例会 会議録

【　日　時　】　令和８(2026)年 10 月８日(木) 午後３時 00 分～３時 55 分
【　場　所　】　中央図書館(３階)研修室１
出席委員　　10 名　安齋健一、井上英子、菊池信太郎、齋藤亜紀子、鈴木英夫、
鈴木祐介、サンジェイ・パリーク、芳賀チエ子、古河志津子、吉田果南
欠席委員　　５名　阿部和絵、石田陽子、中畠由子、藤田久実子、新田聖子
【 事 務 局 】　中央図書館長　家久来悦子、副館長　菊池高之、
管理係長　井上薫、総合サービス係長　橋本果、
希望ヶ丘図書館長　宗形彰久、富久山図書館長　宗方成利、
担当職員　今泉・仲田
安積図書館長は欠席。

【会議の概略】(司会:管理係長)

１　開会
２　館長・議長あいさつ
３　議事・・・・議事進行(菊池議長)
(１)報告事項
(ア)令和８年度事業報告（７～９月分）
事務局(副館長)から資料に基づき説明ののち質疑応答。
パリーク委員:おはなし会の参加者が少くなかったのはどうしてか。
宗形希望ヶ丘館長:開催時期が夏場で、隣接する児童館プール開催と重なってしまったため。
次回以降は施設とも情報を密にし、開催時期を設定する。
パリーク委員:各館の映画等のＰＲのため、管内の学校にチラシを配布してみてはどうか。
宗形希望ヶ丘館長:地域図書館だより、ポスターでＰＲしている。広報・ＳＮＳも活用している。
宗方富久山館長:館内の学校にチラシ配布。
パリーク委員:安積図書館の職場体験の人数が、目の前に学校があるのに少ないのはどうしてか。
菊池副館長:職場体験は学校側からの要請により実施している(元安積図書館長)
安齋委員:現状、職場体験は生徒の希望に応じて実施している。
小原田中では近隣の企業で実施。今年は図書館を希望する者はいなかった。
古河委員:小中学生に対し、本の借り方、電子書籍の利用方法を図書館職員が出向いて指導してみてはどうか。高齢者や子供達など、やり方が分かりにくい年代に知ってもらうと、より利用が伸びると思う。
菊池議長:小学生の「まちたんけん」で郵便局などを訪問しているが、図書館にも来てもらえると良いと思う。
菊地副館長:各館では、すでに小学生のまちたんけん(施設見学)で１・２年生を受け入れている。
古河委員:その際、利用カードを作ってもらうと良いと思う。
橋本係長:施設見学の際に、利用カードを作る学校もある。

宗形希望ヶ丘館長:前回、小山田小６年生３０名×２組受入ました。
次回、富田西小学校２年生予定を受け入れる予定である。学校と情報交換し、分類法などを教えている.

(イ)その他　特になし

(２)協議事項　第２期郡山市図書館基本的運営方針及び第五次郡山市子ども読書活動推進計画の進捗状況について　橋本係長から説明ののち質疑応答

パリーク委員:広域利用で富久山図書館が突出している。
また、館内イベントの回数・参加者も多いが、どのような取り組みをしているか。

宗方館長:広域利用は、富久山図書館が三春町・本宮市・大玉村が地理的に近いのと、これらの町村の図書館がやや不便な立地で、書籍数が少ないため、利用者が多いと思われる。

菊池議長:郡山市民で本を借りている人、借りていない人の割合では、借りていない人の方が多いと思う。一部のコアな利用者が多く借りているという現実がある。
その指標があると良い。何冊借りている人がどれだけいるかとか。
利用冊数の伸びより、むしろ市民への認知度を高めることが大事。

家久来館長:登録者数８４,０００人、人口比３０％で、これをいかに伸ばすのが課題だと感じる。

菊池議長:学校等での電子書籍の利用についてはどうか。

橋本係長:子供向け作品や読み放題パックなどを増やしている。大人向けでは、旅行系のるるぶなどが人気。館内では利用案内も周知している。

菊池議長:電子書籍の契約体系はどうなっているのか。

橋本係長:一定回数で利用券がなくなる買い切りと読み放題パックを併用している。オーディオブックも増やしている。

(３)その他

菊池議長から独自に作成した持参資料の説明

① 図書館職員による他の図書館の積極的な視察・訪問をするべき。
② 図書館協議会から市への提言をしたい。
③ 議長が独自に作成した図書館活性化のための参考資料を、持ち帰り、一度目を通してほしい。
充実した図書館のある都市は認知症が少ないというデータがある。
図書館は街の魅力のバロメーターだと思う。
これからの図書館は貸出のみではない次のステージへすでに入っていると感じる。
中央図書館の数年後の改修に向けて、図書館のあるべき姿、役割を考えていかなくてはならないと思う。

４　閉会

司会:以上を持ちまして第２回定例会を終了します。次回は 12 月を予定しています。

(15:55 了)